



おもちゃの国



デッド・ホース



もしも

短編映画上映 & 公開シンポジウム

～ 国際短編映画祭 SSFF & ASIA 「戦争と生きる力」プログラム サイドイベント～

米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭 ショートショートフィルムフェスティバル & アジア (SSFF & ASIA、代表: 別所哲也氏) で上映されている「戦争と生きる力」プログラムから 6 作品を上映。その後、トークゲストと共に、作品に登場するさまざまな境遇の人たちの人生や想いをひもときます。

身近な人を思いやり、助け合うことの大切さ、そして平和であることのありがたみを、一緒に考えてみませんか？

トークゲスト



フリージャーナリスト
安田 菜津紀さん

1987年神奈川県生まれ。studio AFTERMODE 所属フォトジャーナリスト。16歳のとき、「国境なき子どもたち」友情のレポーターとしてカンボジアで貧困にさらされる子どもたち取材。現在、カンボジアを中心に、東南アジア、中東、アフリカ、日本国内で貧困や災害の取材を進める。



マンガ脚本家
大石 賢一さん

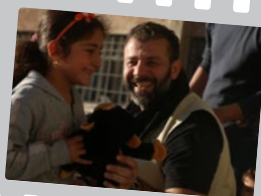
東京神田生まれ。『HOTEL』でマンガ脚本家デビュー、その後も『STATION』『朝倉くん、ちょっと!』など次々とヒット作を生み出し、ドラマ・映画などで映像化される。2015年にはICRCのMANGA×ひとのチカラキャンペーンの一環で、翌年学研パブリッシング(現: 学研プラス)からジャーナルコミック『14歳の兵士 ザザ』を出版。

イベント後は、
両氏による本の販売
サイン会も行います！

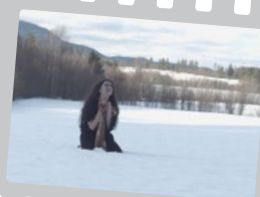
一日限りの仕事



アレクポへの旅



故郷への道



2017年6月19日(月) 18:30～20:30

【場所】日本看護協会ビル地下2階 JNAホール(東京都渋谷区神宮前 5-8-2)

【入場料】無料

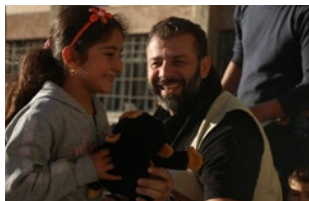
【主催】赤十字国際委員会(ICRC)

【協力】SSFF & ASIA、(公社)日本看護協会

【参加申し込み】メールまたはお電話にて、赤十字国際委員会までお申し込みください。

icrc.symposium@gmail.com / 03-6628-5460

上映作品情報 戦争と生きるカプログラム WP2



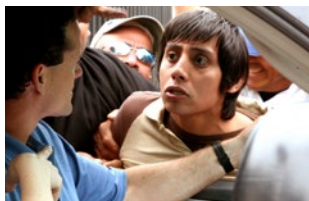
アレppoへの旅
Journey To Aleppo
Juuso Lavonen & Vesa Rajala / 21:03 / フィンランド / ドキュメンタリー / 2016

シリア生まれでフィンランド市民のラミ・アダムが、危険を承知で祖国の子供達に会いに行く目的とは？ドキュメンタリー映画。



デッド・ホース
Dead Horses
Marc Riba & Anna Solanas / 06:16 / スペイン / アニメーション / 2016

戦地から逃れようとする少年が、道すがらたくさんの馬を目にする。なぜ馬達はこんなところにいるのか？アニメーション映画。



一日限りの仕事
A Day's Work
Rajeev Dassani / 16:17 / アメリカ / ドラマ / 2007

アメリカ人一家の引っ越しを手伝うため、日雇いで働く三人の移民たち。荷造りの当日、お互いの不信感から誤解が誤解を生み、事態は思わぬ結末へと…



もしも
What If
Josh Liveright / 04:50 / アメリカ / ドラマ / 2016

マンハッタン上部に住む3人の父親は、この世界にあふれる暴力や憎しみについて深く考え、どうにかしようと決意し、あるプロジェクトを立ち上げた。3部作のコメディ映画。



故郷への道
The Way Home
Begonia Randhav / 13:00 / スウェーデン / ドラマ / 2015

ようやくスウェーデンにたどり着き、難民申請をする一家。これまでも様々な理由をつけられて申請は却下され、ヨーロッパをさまよって来た。戦争のない国で、普通の幸せと安全を求める彼らの願いは届くのか？



おもちゃの国
Toyland
Jochen Alexander Freydank / 13:52 / ドイツ / ドラマ / 2007

1942年ドイツ。息子を守るためにマリアンはユダヤ人は、'おもちゃの国'に遊びに行くのだと嘘をつく。しかしある朝、息子はユダヤ人と共に姿を消す。

赤十字国際委員会って何しているの？

赤十字国際委員会(ICRC)は、戦場で犠牲となった人々を保護・支援する国際組織です。本部をスイス・ジュネーブに置き、中立・独立・公平をモットーに、世界80カ国以上で活動を展開しています。戦時のルールを定めたジュネーブ諸条約からその人道的役割を与えられているため、活動資金のほとんどは各国政府が拠出しています。

国内パートナーの日本赤十字社は、医療スタッフの派遣や、「海外たすけあい」などで一般から寄せられた募金の一部を寄与するなど、ICRCの紛争地の活動をさまざまに支えています。

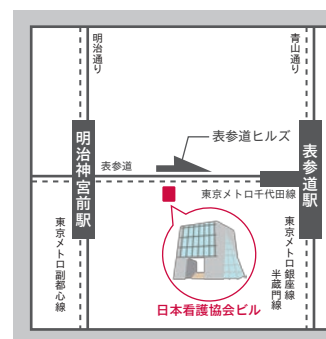
ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)って？

1999年に東京・原宿で生まれ、今年19年目を迎えた米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭。創立者は俳優の別所哲也氏。今年は6月1日(木)から6月25日(日)まで、東京と横浜の5つの会場で、世界140以上の国と地域から集まった選りすぐりの約250作品が上映される。



ショートショート フィルムフェスティバル & アジア(SSFF & ASIA)とICRCのコラボ

2015年の戦後70年を機に、米国アカデミー賞公認の国際短編映画祭のSSFF & ASIA(代表:別所哲也)に「戦争と生きるカプログラム」を立ち上げました。戦時下に暮らす人も、平和な国に住む人も、私たちは変わらずご飯を食べ、家族や友達と語り、恋人と大切な時間を過ごしています。住んでいる場所が違うだけ、生まれてきた国が違うだけで、生きるための営みに何ら変わりはありません。作品に登場するさまざまな境遇の人たちの人生や想いに触れ、身近な人を思いやり、助け合うことの大切さを感じてもらいたい。そして、平和であることの大切さ、ありがたみをもう一度みんなで考えたい。その想いから実現したコラボです。



(公社)日本看護協会ビル
住所: 渋谷区神宮前 5-8-2

アクセス
・東京メトロ銀座線、千代田線、半蔵門線
「表参道駅」A2出口 徒歩2分
・東京メトロ千代田線、副都心線
「明治神宮前(原宿)駅」5出口 徒歩3分